

「本郷台おしゃれさろん」

訪問記

「本郷台おしゃれさろん」は、遠くまで行くのが大変、大勢の中で話すのが苦手などの理由で、地域の行事などに参加できにくい方のために、本郷台駅から、北本郷台行のバスで約10分の閑静な住宅地の一角にある個人宅を解放し、7年前の平成16年にオープンしました。

その後、17年度からは、助成金も交付され円滑な運営ができるようになり、昨年度は、栄区社会福祉大会においてボランティア活動功労賞も受賞いたしました。



現在は、8月を除く年11回、第4火曜日の午後、2時間程度開催しております。

利用者のお話では、テーマなしに誰でも気兼ねなしに話ができるので、話が弾むとのこと。今回も、主催者のご主人が特別参加され、健康問題や時の話題など新しい話題が加わり、あっという間の2時間が過ぎ去ってしまいました。

また、年2回、1月の新年会、12月のクリスマス会の時には、特別の楽しい催しがあるとのこと。

主催者の池田さんによると、「お手伝いも利用者と顔見知りの方たちがボランティアに来ていただけるので助かっています。これからも、毎月楽しみにしてきてくださる利用者のために、楽しいひと時を過ごしていただけるよう心がけていきたい。」とのこと。

地域のなかで、こんなにあたたかい場所が作られていることは、とても素晴らしいことだと思いました。(二村・片山)

※「本郷台おしゃれさろん」のネーミングの由来※

外出する機会の少ない高齢者が思い思いのおしゃれをして集まってこられるサロン。

横浜子育てサポートシステム栄区支部入会説明会

子どもを預けたい人と子どもを預かりたい人が会員として登録し、会員相互の信頼関係のもとに、子育ての援助を行います。

- 対象** 子どもを預けたい人……生後57日以上小学6年生までのお子さんをお持ちの方
子どもを預かりたい人……20歳以上の熱意のある方
- 利用料** 月～金 7:00～19:00 1時間800円
土日祝日年末年始、上記以外の時間 1時間900円
- 日程** H23 8/18(木)・9/15(木)・10/20(木)・11/17(木)・12/15(木)
H24 1/19(木)
- 時間** 全て10:30～11:30まで
- 場所** ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)
☆ 当日無料の保育もごさいます。ご希望の方は同時にお申込みください。
☆ 保育ご希望の方は当日10:15にお越しください。

同日開催

第3回 さがえ福祉フェスタ 栄っ子元気まつり

日時 10月23日(日)
11:00～

場所 ピアハッピー栄
栄区役所新館1階

みんなで
遊びに来てね

広告募集

栄区社会福祉協議会では、「さがえ区社協だより」へ掲載する広告を募集しております。詳細はお電話にてお問い合わせください。 ☎ 045(894)8521

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力でご世帯にお配りしています。

- 【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
- 巻頭(堀田 賢一) 並間(鈴木 繁)
 - 小首ヶ谷(山崎 咲恵) 本郷中央(木村知恵子)
 - 本郷第三(片山 翠一) あさの会(広沢 行紀)
 - 上郷西(堀見 ふく) いでたち(二村 忠孝)
 - 上郷東(高橋 勝美) 積み木(水上 広枝)

【編集後記】
「頑張ろう東北!」離れていても心はひとつ!日本全国の人達が、被災された方々に今もそう思い続けているはずだ。
「たしかにその当時はとても厳しかったし、くじけそうな心にとればど力になったかわからない。でも二ヶ月経っても今後の見通しが全く立たないなか、ただ頑張れ、頑張れと言われても何を目標にして頑張れというのか?せめてあと〇ヶ月辛抱してくれ、そう言われれば皆で助け合いながら頑張れそうなのがするんだが……」
ようやく連絡のとれた福島二本松で避難している友人の心の叫びです。せめてこの号が発行される8月までに友から別の言葉を聞くことができるよう、ただただ祈る毎日です。(鈴木)



さがえ区社協だより

No.34

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045(894)8521

Fax 045(892)8974

平成23年8月1日発行

E-MAIL: office@sakaeku-shakyo.jp URL: http://www.sakaeku-shakyo.jp 承認：栄区連第35号

ご存じですか? 「さがえ ふれあい助成金」

「さがえ ふれあい助成金」は、栄区内で行われる非営利な地域福祉推進事業や、障がい福祉推進事業の支援を目的としています。

従来、実施していた各種の助成金制度を一本化し、わかりやすくして平成17年からスタートしています。

平成22年度は110件の申請事業に対し、総額9,474,000円の助成を行いました。今回は、この「さがえ ふれあい助成金」について詳しくお知らせします。



よこはまふれあい助成金補助金	5,097,000円 [53.2%]
共同募金配分金 (一般募金・年末たすけあい)	3,022,000円 [31.6%]
善意銀行寄付金	1,455,000円 [15.2%]
総額	9,474,000円

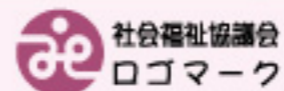
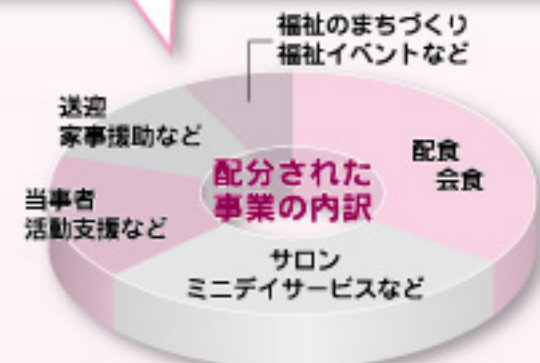
財源のうち、およそ半分は、よこはまふれあい助成金の補助金となっていますが、残りの半分については、共同募金や善意銀行への区民のみなさまからの寄付金が充てられています。

pick up!! 善意銀行のご案内
地域のみなさまからの善意の寄付をお預かりし、支援を必要とするところに配分するしくみです。受付は栄区社協窓口で行っています。みなさまの寄付が地域の活動を支えます。ご協力をお願いいたします。



配分を受けている団体の活動内容を見てみると下のグラフのようになっています。地域福祉や障がい者福祉の推進を目的とした事業に配分されていることがわかります。*6ページには、さがえふれあい助成金の配分を受けて活動している「本郷台おしゃれさろん」の訪問記を掲載しています。あわせてご覧ください。

配食・会食	3,314,000円 [34.6%]
サロンなど	2,735,000円 [28.6%]
当事者活動支援など	1,615,000円 [16.9%]
送迎・家事援助など	1,190,000円 [12.4%]
福祉のまちづくり・福祉イベントなど	720,000円 [7.5%]
総額	9,474,000円



社会福祉協議会 ロゴマーク
社会福祉および社協の「社」を図案化し、「手をとりあって、明るいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

豊田地区

- 1 地区事業の推進
「豊田みよりの集い」を開催 11月3日(木)
(一人暮らし高齢者・高齢者世帯の方対象)
「豊田ふれあいフェスティバル」協賛 10月15日(土)
「ふれあいサロン事業」の支援助成
「ふれあい豊田」広報誌発行 9月・3月
- 2 在宅福祉サービス
配食サービスの会「積み木」への支援助成
- 3 福祉事業(助成)
「シニア福祉大会」「ゆたか会」
「介護者の集い」
- 4 福祉施設の慰問・研修
民生・児童委員が行う慰問・研修への支援助成
- 5 青少年対策事業
「社会を明るくする運動」協賛 7月9日(土)
「千秀センター」への助成
- 6 保健体育振興事業
「豊田連合運動会」協賛 6月5日(日)
- 7 研修会
連合町内会自治会と合同で地域内の協調、親睦を図るための開催

会長 小林 信治 (Tel 891-3460)

小菅ヶ谷地区

地域で生活している誰もが、年をとっても障がいがあっても住み慣れた家で安心して暮らすことができるまちづくりをめざして、地域の皆様とともに福祉活動に取り組んでまいります。

- 1 地域福祉を推進するための調査及び研究
在宅の高齢者(70歳以上)の調査
連合町内会の協力を得て高齢者の居住状況を調査
- 2 地域福祉を推進するための事業の企画及び研究
(1) 高齢者並びに障がい者福祉のための活動
・見守りを兼ねた配食サービス及び昼食懇談会を行う(いちご会事業)
・中途障がい者及び障がいのある高齢者の交流会を行う(実管会事業)
・「敬老のつどい」を開催する(9月11日)
・70歳以上の方を対象に敬老記念品の贈呈
- (2) 研修会を開催
・地域の問題や課題をテーマとして取り上げ、「地区社協研修会」を実施する
- (3) 青少年育成活動や児童福祉の活動を支援
・子供会、青少年指導員、小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び小学校・中学校との連携を図る
- 3 地域福祉や地域住民の健康づくりを推進するための団体・機関との連携を図り支援する
- 4 小菅ヶ谷地区社協だよりを発行する
- 5 その他本会の目標達成のために必要な事業を行う

会長 田中 健次 (Tel 892-7011)

本郷第三地区

- 1 ふれあいサロンと世代間交流事業(月1回)
・鍛冶ヶ谷・ローレル地区「ふれあいサロン」
・「なでしこサロン」
・富士見ヶ丘・中野地区「ふれあいサロン」
・「プリンス会館 おしゃべりサロン」
・「みんなの広場・たけのこ」
- 2 敬老事業
・「慶寿会」の開催 10月30日(日)(本郷小学校)
70歳以上の高齢者、65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象とする地区合同懇親会
・各町内会、自治会の敬老会への助成
- 3 広報活動 広報紙「本三みらい」発行
- 4 「本郷第三地区支えあいネットワーク」事業推進
- 5 各福祉団体への助成
・配食サービス「こだま」
・中途障がい者ミニデイサービス「ぐるーぷ なのはな」
・子育て支援「モーリス」
・交通安全母の会
・いきいき健康づくり
- 6 各福祉団体助成事業との交流会

会長 本多 輝男 (Tel 891-6334)

上郷西地区

当会創立25周年にあたり地域住民のより一層の福祉向上に貢献すべく努力してまいります。

- 1 ふれあいサロン活動の充実
・出会いサロン・あおば・西ヶ谷団地おしゃべりサロン
・サロンかめい・ハイツ集い処・こども広場さくらんぼ
・ゆずりはの会・ママとも広場アロハ!・サロンかみの(9サロン)
- 2 「敬老のつどい」9月19日(月・敬老の日 祝日)
上郷中学校 体育館
70歳以上の高齢者をご招待
参加者 21年度 430名、22年度 432名
- 3 公開講座「健康講座」(3回)「料理教室」(2回)
- 4 広報活動「上郷西地区 社協だより」年4回発行
- 5 創立25周年を祝う会 12月4日(日)
横浜市上郷地区センター
- 6 地域福祉保健計画 つながるプランの実践
世代間交流サロン「ぬくもり」年3回開催
「みんなに届くまちの情報」食編 発行 配布
- 7 上郷西地区町内会・自治会との連携強化をはかる

会長 平岩 正安 (Tel 895-2516)

平成23年度 地区社会福祉協議会の活動内容

笠間地区

- 1 地区事業の重点取組
第2期栄区地域福祉保健計画「つながる」を共通認識のもとにスタートし、1年を経過した。本年度は、「自分の地域は自分たちで良くして行こう」と言う気持ちで重点的に「交流の場づくり」ととりくみながら、各団体の福祉保健をテーマとした活動の支援を進めて行く。
- 2 諸事業
(1) 地域交流事業
①敬老の集い 9月11日(日)
②福祉クリスマス 12月12日(月)
(一人暮らし高齢者の方、ひとり親家庭の方、障がい者の方年末在宅福祉の集い)
- (2) ボランティアグループへの支援活動
①ふれあい昼食会(一人暮らし高齢者対象)
毎月第2月曜日 10:30~15:00(笠間地域ケアプラザ)
②ニコニコさろん(世代間交流と心身のリフレッシュ)
毎月第1木曜日 13:00~15:00(笠間地域ケアプラザ)
③配食サービスの会みつま
(高齢者世帯へ夕食を配食…利用申込み者)
毎週水曜日(但し5週目は休み)
- (3) 連合町内会・自治会主催イベントに協力参加
①盆踊り大会 8月6日(土)~7日(日)(笠間町公園)
②秋まつり 10月9日(日)(笠間小学校)
③ペアクイズラリー 2月5日(日)(笠間三丁目公園付近)
- (4) 笠間地域ケアプラザ「おしゃべり広場」への協力参加
- (5) 調査、研修、広報活動
①広報紙「ふくし笠間」の発行、全体研修の開催

会長 田口 郁朗 (Tel 894-3351)



本郷中央地区

〈基本的な考え方〉

- ①地域の安全で安心のためのまちづくり運動をめざす
- ②第2次の区や地域の福祉計画推進に沿った活動を推進する
- ③支えあい連絡会活動と連携を深める
- ④地域福祉推進のため、地域町内会自治会及び地域団体と連携を重視する

〈具体的活動推進〉

- ①高齢者交流の場としての「敬老のつどい」の開催 9月19日(月・敬老の日 祝日) 栄公会堂
- ②地域住民への福祉情報の発信としての「ふれあい通信」の発行 6・10・12・3月
- ③親子の交流と自然愛護の機会としての「いかだ祭り」の展開 8月21日(日) いたち川
- ④支えあい連絡会との協働による「自治会訪問」「福祉講座」「フォーラム」の展開
- ⑤地域各種福祉活動団体への支援を継続する「三水会」「げんき」「公田山百合会」「シニア同友会」「こども菜園」
- ⑥その他地域福祉関連としての「地域通貨」「災害ボラネット」「みちくさみち」「グリーンコーポ」等への参画、関与

会長 亀澤 弘 (Tel 893-0118)

上郷東地区

〈活動方針〉

地域福祉保健計画の実行と共に、東日本大震災を教訓に災害時の対応について、連合町内会と協力して、展開します。

〈主要活動〉

- 1 敬老の集いを各町内会、自治会単位で開催し、高齢者福祉活動を支援する(9月に開催)
- 2 一人暮らしの高齢者や、高齢者世帯の方々とのふれあい懇親会(食事会)への支援をする
年間5回開催(地域別4回、合同1回)
- 3 寝たきり高齢者に対して、見舞い品を贈る(12月)
- 4 地域見守りネットワーク立上げに対して支援する
- 5 地域サロンの開設に対して支援する
- 6 地域との関わりを通じて、子育て、学援隊、三世交代事業、学校主催行事等を支援する

会長 高橋 勝美 (Tel 891-7012)

福祉保健活動拠点運営

- 利用団体 86団体登録
- 利用回数 延べ2,902回

法人運営

- 各種会員部会・分科会開催
- 理事会・評議員会等開催

子育て支援事業

- 横浜子育てサポートシステム
利用会員 175名
提供会員 53名
両方会員 17名
活動件数 延べ1,198件
- 子育て支援団体連絡会開催

送迎サービス事業

- 利用登録者 487名
- 運転ボランティア登録数 25名
- 送迎回数 延べ2,366回
- 送迎ボランティア連絡会 6回

権利擁護事業

栄区社協あんしんセンター
(定期訪問・金銭管理サービス、
財産等預かりサービス)
相談・訪問等支援回数 963回

地区社協支援事業

- 地区社協分科会

地域福祉推進事業

- 地域ケアプラザ支援

障がい児・者支援事業

- 障がい児・者の余暇活動支援
- 障がい者等当事者団体支援

さかえふれあい助成金

- 総額 9,474,000円 件数 110件
ボランティア団体・障がい当事者
団体・施設等へ配分
- その他 交通遺児・会員等へ配分

福祉教育

- 福祉教育出張講座 延べ14校で実施
参加者2,119名
- 先生のための福祉講座開催 157名参加

ボランティアセンター運営事業

- ボランティア情報誌「そら」発行……7回
- サマーボランティアスクール……延べ272名参加
- 各種連絡会……7回
- 講座(剪定ボランティア、手話等) …延べ108名参加
- ボランティア 依頼件数…74件 調整件数…787件
紹介件数…67件 紹介人数…293名

善意銀行運営事業

- 寄託金品受付 65件のご寄付

生活福祉資金貸付事業

- 生活福祉資金相談件数 85件
- 生活福祉資金貸付件数 8件
- 総合支援資金相談件数 68件
- 総合支援資金貸付件数 24件

共同募金・年末たすけあい配分事業

- 地区社協への助成
- 小災害見舞・行旅病人法外援護等

広報啓発事業

- 広報誌「区社協だより」発行 2回
- ホームページによる情報提供 全124回更新
- 社会福祉大会開催
- 障害者週間キャンペーン実施

栄区社会福祉協議会は 平成22年度



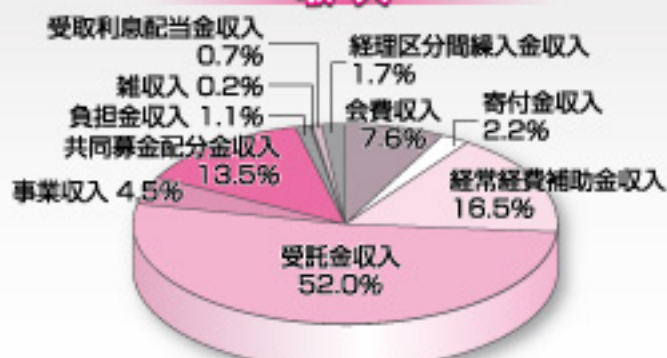
栄区福祉保健活動拠点
マスコットキャラクター
そらちゃん

こんな事業を
行いました

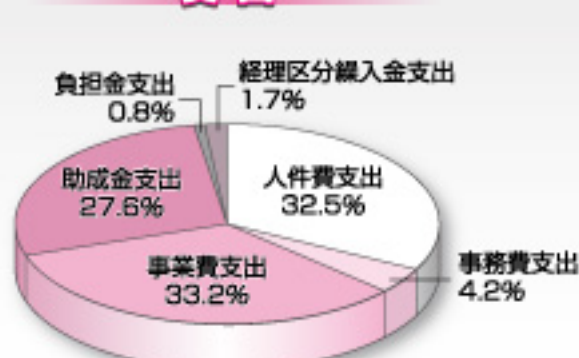
平成22年度決算

収 入	66,003,041円 (前年度繰越金 23,215,018円含む)
支 出	43,031,592円
次年度繰越金	22,971,449円

収入



支出



〈経常活動による収支の部における収入・支出の状況〉 (前年度繰越金を除く)

賛助会員のご紹介

平成22年4月1日～平成23年3月31日

栄区社会福祉協議会へのご支援ご協力ありがとうございました

法人賛助会員 (順不同・敬称略)

株式会社 おくう	有限会社 加藤造園	医療法人社団 柴崎内科クリニック
株式会社 機設エンジニアリング工業	有限会社 亀田建設	恵愛クリニック
株式会社 倉本工業	有限会社 木村義設工作研究所	野村医院
株式会社 グランコート	有限会社 久保田塗装工業所	かたくら歯科医院
株式会社 シーケン	有限会社 越智産業	鎌倉ファーマシー大船薬局
株式会社 瀬谷デンタルラボラトリ	有限会社 天正商事	ケア・サポート ワイ・イー・エス
株式会社 装美	有限会社 天神薬局	社会福祉法人 地域サポート虹
株式会社 大柱サービス	有限会社 ナカムラ生花笠間店	NPO法人 地域サポート虹
株式会社 千葉増改築	有限会社 櫻本自動車工業	NPO法人 さかえ区民活動支援協会
株式会社 辻本工務店	有限会社 丸蔵商事	NPO法人 湘南おでかけサポートの会
株式会社 北辰たちばなや	有限会社 みのくち	宗教法人 正安寺
栄光電子サービス 株式会社	有限会社 山下工務店	本郷台キリスト教会
住電資材加工 株式会社 横浜事業部	有限会社 よろい	吉越祝理士事務所
大紀工業 株式会社 横浜工場	田中造園(マルトク商事 有限会社)	飯島幼稚園
東京システム工業 株式会社	イタリアンと炭火焼の店 カウベル本店	いのやま幼稚園
二和印刷 株式会社	飲食店 浜船	いのやま保育園
有限会社 泉製作所	医療法人慶寿会 小笹医院	つくし共同保育所
有限会社 岩沢工務店	医療法人 公田クリニック	山手学院中・高等学校
有限会社 垣内動物病院	医療法人 若竹クリニック	

個人賛助会員 (順不同・敬称略)

青木 和子	伊藤 光雄	片岡 久	斎田 とく	岡 由利子	千葉 幸	嵐山 工	水沼 貞雄	若林テル子	五月 会
青木 富平	福見 忠典	片岡由富枝	齊藤 晶	岡根 アヤ	象本 志志	瀧川 和子	三井 良子	浦井 澄子	サロンかみの
青木 順子	福塚 早苗	片山 栄一	斎藤 和子	岡根佐代子	辻 邦子	原 晃	三原 美子	網谷 弘子	手話っち
赤坂 徳夫	井上 進	藤田 英次	斎藤 昇	岡山 良子	角田 正勝	原田 裕子	三原 眞子	渡辺 金夫	庄戸の
浅沼 幸子	井上 長	藤岡田保子	斎藤 英昭	高井 浩夫	角田 文江	林 眞	宮井 義徳	渡邊すみ江	元気づくり
浅沼 忠	今井 淳	加藤 珠貴	坂田 正子	高島 良子	藤岡 昭亮	半田 久子	三宅 清一	B.B.BOX	実行委員会
浅沼 伴白	岩佐 恭子	金子 ヒデ	坂本アヤ子	高橋 晃	藤巻千枝子	樋口 雅彦	三宅 洋子	あおば	ツツジの会
朝比奈和子	岩崎 博子	金崎 貴	坂本 双葉	高橋 嘉美	出川眞由美	平岩 正安	宮地 和子	おひげ	つたいサロン
芦川 弘	岩見 翁吾	川久保富江	佐藤 義雄	高橋紀美子	土井新太郎	平岡 幸夫	村井 光子	かがやき	ドラクエの会
足立 裕	岩本 達子	川崎すみ子	佐藤 鈴代	高橋 啓子	酒田 和代	平田 智子	村上 眞子	いの山	西ヶ谷園地
岡部 一天	岩谷 力男	川島 清治	佐藤 高司	高橋 強	戸部 臣助	平野 弘	村上 清一	プラチナ会	「おしゃべり
岡部よし系	上坂 登子	河原 文江	佐藤 高司	高橋 晴美	宮永 さよ	深草 伸一	村田可代子	パソクラブ	サロン」
雨宮 久	上坂 正茂	上林山 宏	三瓶 正章	高 静雄	尾越 和子	福森千鶴子	村田百合子	上郷東地区	配食サービスの会
新井増清典	上田 豊子	北野 孝子	畑田 路子	高山 昭	豊 マサイ	藤岡 修	笠井 眞	民生委員	みつ葉
荒木 義隆	上田 秀雄	北村 敦子	白倉 敏子	海口さみ子	長瀬 潔	藤澤美智男	持田 忠	児童委員協議会	ハイソウいぬ
有馬 誠一	上野 雅雄	木村 利子	菅永 恵子	海川 忠重	長瀬せい子	藤野 英子	森 健二郎	かみしばい	パンボラ横浜
有馬 薫子	上原 純	梶生 真一	芝 京	田口 朝朗	長瀬 安	藤巻 秀二	森 教廣	アンサンブル	ひばり会
安藤 山治	牛原 洋枝	日下部和夫	島村 照子	田口 洋子	長瀬 政夫	藤村 邦正	森 浩美	よこはま	芙蓉台
安藤 薫	菅原 恵子	日下部桂子	清水 弘雄	竹内 勝利	長瀬 洋子	船野 智子	藤澤 恵子	きらら	ふれあいの会
飯塚か茅子	津原 恵子	倉田 由木	清水 博子	武井 和子	長瀬 誠司	北条 順子	山崎 咲恵	ぐるーの会	本郷台
伊賀川洪一	津原 武	黒木さち子	清水 路子	武田 恵子	中野ひろみ	船見 ひと	山崎 忠男	コスモス会	おしゃべり
池田 勝敏	津原 英基	熊谷 礼子	白神 倫枝	武田 輝明	長門 昌治	堀田 賢一	山田 伊住	子育て喫茶	本郷台東武
池田 鈴枝	櫻本 秋雄	藤野 一廣	新保 孝雄	田島智恵子	永長 正雄	本田 克子	山田 悦江	「げんき」	中央視聴会
石井 千鶴	櫻本 友子	藤原 伸司	神保 謙介	多田 裕子	中村 充男	本田 桂子	山本 勇	子ども広場	本郷中央地区
石川 弥生	大泉 勇男	古宇田伸子	須江ひさ子	田平 節子	中村 涼子	本多 舞男	山本 桂	モーリス	「町ぐるみ
石原 洋一	大木 理江	小島為政生	末村 高志	伊達 健郎	中川 淳史	本間 寛	山本 三樹	さかえ	健康づくり
石原 尚子	大岡千恵美	後藤富久子	須賀 正	田出 利幸	奈良 良子	本間 和男	吉田 悦子	日本語の会	運営委員会
石山 道子	大谷 一枝	後藤 幸子	菅野 文夫	田中 健次	成田 眞啓	前川美代子	吉田 宏子	栄ソリスト	みどり会
伊藤 弘	大塚 治利	小林 信治	杉澤 玲子	田中 伸代	西澤 愛子	前田美佐子	吉野 恵子	栄区シニア	クラブ連合会
磯部美津子	大沼 妙子	小林 晴男	杉本須美江	田中 伸一	西澤 良亮	牧野万重子	吉野 恵子	クラブ連合会	パソクラブ
市田 有武	岡 力	小林 由美	杉本 良一	田中子工子	野添 子ヨ	増田 昌司	吉松 昌	三水 会	
伊藤 幸子	小川 敏夫	小見山賢治	杉山 紀子	田中裕海	野田 治生	増田 眞理	吉村 敏	さくらんぼ	
伊藤 幸男	折田 藍子	近藤千恵子	鈴木 陽代	田中富美子	長谷川祥子	松尾 研	米澤 宏一		
伊藤 幹生	片岡寛久江	佐井 和枝	砂川福七郎	玉置 尚美	箱島 重信	丸山 弘人	米 長 保		

賛助会員を募集しています 納入方法：栄区社協窓口または、地区社協を通じての納入をお願いいたします。

- 法人賛助会費 一口(5,000円)より
 - 個人賛助会費 一口(1,000円)より
- 皆様からいただいた賛助会費の50%は、身近な各地区社会福祉協議会へ還元され、また50%は、区社会福祉協議会等が行う各種福祉保健活動に有効に活用されています。

平成22年度は賛助会費を次の事業に使わせていただきました

- 7地区社会福祉協議会へ還元
- 障がいのある方たちへの支援

平成23年度は次の事業に使わせていただく予定です

- 7地区社会福祉協議会へ還元
- 障がいのある方たちへの支援

詳しくは2ページ・5ページをご覧ください
障害者週間キャンペーンなどの啓発事業を行う予定です。